

関係者が一堂に会し、観光振興のために何をすべきかを話し合い、計画を立て、実行していくための「仕組み」をつくらうと、JICAは06年から「観光振興支援プロジェクト」を実施。観光省をはじめとする「官」と、旅行代理店、ホテル経営者、バス会社など観光産業に関連するさ



アクラ市内に軒を連ねる土産物屋。商品の品質や種類などに、まだまだ改善の余地がある

「官」が連携し、観光立国という目標に向け、第一歩を踏み出したガーナ。「少なくとも、今後の土台となるものは築けたのではないかと思います」と、下村さんも手応えを感じている。今度はその礎をもとに、彼らが自ら



PPPフォーラムの活動をもとに作られた広報ウェブサイト。観光省によって管理され、官民双方のさまざまな意見が取り入れられている

<http://www.touringghana.com/>



08年には、サッカーのアフリカネイションズカップがガーナで開催され、他国からの訪問者への観光プロモーションも行われた

「官」と「民」の関係者で構成される「官民パートナーシップフォーラム（PPPフォーラム）」の設立を支援し、年4回の会議を柱に、官民が共同で取り組むさまざまなパイロット事業を行ってきた。JICA専門家としてプロジェクトに携わった株式会社パデコの下村剛史さんは、「最初は、なぜ連携が重要なかを認識してもらったことから始めなければなりません」と振り返る。だが時期を遡うごとに、フォーラムで得られる知識や情報、そこで生まれる人と人とのつながりなどが評価され、その規模も拡大していった。また、パイロ

ト事業の成果として、海外で観光広報などを行う「ガーナ観光局」の設立に向けた準備が進められているほか、民間の人材育成のための研修カリキュラムも整備。さらに、海外での広報映像やキャンペーンロゴも製作され、広報ウェブサイトも開発された。JICAの支援は09年に終了したが、その後もフォーラムでは、「マーケティング」、「商品開発」、「投資促進」などの観点から観光振興を考え、形にしている。また、旅行者にさまざまな観光情報を提供する「アクラ・ビジターセンター」の建設も予定されるなど、引き続き成果も期待できそうだ。一方JICAも、08年「第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）」で日本が観光促進支援を表明したことを受け、アフリカ各国での協力の可能性について検討を始めている。

何年後には、もっと多くの「アクワバー」が聞かれるに違いない。底抜けに明るく、ホスピタリティーあふれるこの国の人々を見ると、そう思えてくる。

「官」と「民」が会おう場を

ガーナを観光立国に。90年代後半より、政府は国家開発戦略の重点分野の一つに観光を掲げ、観光省が中心となってさまざまな政策を打ち出してきた。しかし、観光振興を進めていく上で重要な民間部門との連携や支援策が十分ではなく、その成果は思うように上がらなかったという。

「アクワバー（ようこそ！）」
ガーナを訪れる者の多くは、人々の盛大な歓迎ぶりとその満面の笑みに、心を揺さぶられるという。特に、縁あって再びこの国に戻った外国人は、まるでふるさとに帰ってきたかのごとく迎えられる。ガーナの魅力の一つとして訪問者が口をそろえて絶賛する、人々の優しさや温かさを象徴するかのようだ。

そんな彼らの人間性とも決して無関係ではないだろう。近年、ガーナを訪れる人々は増え続けている。1990年には14万人ほどだった海外からの訪問者数は、2006年には約50万人を記録。政治や経済の安定にも後押しされ、観光業は、世界有数の産出量を誇るカカオ、金に次ぎ、第三の外貨獲得源となるまでに成長した。欧米からのバックパッカーや、ナイジェリアなど周辺国からの旅行者が増加してい

るほか、最近では自らのルーツを求めて巡礼旅行をするアフリカ系欧米人の姿も目立つ。目玉となる観光地は、かつて奴隷貿易の拠点となった南部海岸沿いの要塞、17世紀から栄えた王国の伝統的建築物群といった世界遺産、そして貴重な野生生物が数多く生息する野生保護区など。また、外国人旅行者向けの高級リゾートも好調だ。だがそうした観光産業が拡大する一方で、明らかにな

た問題も多い。すでに人気の高い観光地以外に、看板となる観光資源が十分でない上、観光客にサービスを提供する民間部門も規模が小さく脆弱だ。例えば、一部の外資系高級ホテルを除けば、宿泊先の予約が理由なくキャンセルされたり、フロント係が宿泊費を計算できなかったり、というのはよく聞く話。それ以外にも、「人材」、「宣伝・プロモーション」、「投資」など、足りないものはたくさんある。

成長する観光産業の裏で



撮影:今村健志朗



南部の海岸沿いにある、かつて奴隷貿易の拠点となった要塞、エルミナ城(上)とケープ・コースト城(下)。共に世界遺産に指定されているが、さらに観光地として整備を進める必要がある

官民の協力で 観光立国の実現へ

観光を国の重点開発分野の一つに掲げているガーナ。そのカギとなる、政府と民間の協力による観光振興。JICAはこの仕組みづくりを支援している。

